

振り返は読む順序の道しるべ

学習ポイント 1 | 漢文の振り返

レ点と一二点を手がかりに、漢字を読む順序を確かめる教材です。A・Bで基本、Cで組合せ、Dで総復習をします。

原文と訓点を区別する

漢文は中国の古典などに使われる文章です。日本語の語順で読むために、後から振り返り点や送り仮名などの訓点を加えます。振り返り点そのものは、原文の漢字ではありません。

レ点はすぐ下から返る

レ点のある字をいったん後回しにし、すぐ下の字を読んで戻ります。例は「書→読」。書き下すと「書を読む。」です。

1 ム
レ 読
2 ヲ
書

訓点付き漢文

教材用作例

読む順序 書→読

一二点はまとまりを読んで返る

学習ポイント 2 | 漢文の返り点

一から二へ戻る

二点のある字を後回しにし、一点の字まで下へ進みます。一点の字を読んだら、対応する二点の字へ戻ります。例は「古→書→読」。書き下すと「古書を読む。」です。

レ点との違い

「読古書」の読にレ点だけを付けると「古→読→書」になり、古書を一まとまりにして先に読めません。

1

レ

読

ム

2

レ

古

3

レ

書

ヲ

訓点付き漢文

教材用作例

読む順序 古→書→読

組み合わせても一歩ずつたどる

学習ポイント 3 | 漢文の振り返

内側から確かめる

「不読古書」は、まず古・書、次に読、最後に不です。一二点で戻って「読」を読んだ後、上のレ点の「不」へ戻ります。書き下すと「古書を読まず。」です。

答案の点検

読む字を重ねたり、飛ばしたりしていないか確認します。この教材の順序問題では、同じ字を二度読む再読文字や、読まない置き字は使いません。

学習する範囲

基本のレ点・一二点とその単純な組合せを扱います。上中下点などの複雑な振り返りは扱いません。

1

不

ズ

レ

2

読

マ

二

3

古

4

書

ヲ

訓点付き漢文

教材用作例

読む順序 古→書→読→不

原典と教材の利用について

出典確認 | 原文と教材の追加部分を区別します

古代中国の原典本文のみを短く抜粋しています。現代の翻訳・注釈・問題文を転載せず、語注・前後の説明・訓点・解説・設問は本教材用に作成しました。字体や句読点を読みやすく整えた箇所があります。

論語 為政第二 2・4

[原典の電子本文を開く](#)

この抜粋の字形は変更していません。振り返点は教材作成者が追加しました。

「教材用作例」は練習のために作った短文で、古典からの引用ではありません。原典本文と追加した訓点を区別して使いましょう。